

会計名			文化財保存管理事業				担当部		市民活動部		
一般会計							担当課		歴史博物館		
款	項	目					担当係		歴史博物館		
10	5	2									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化・観光交流								
		施策の内容	文化財の保護・伝承								
	目的	文化財を市内外へ向けて広報することで、文化財の保護と啓発普及を図る。				主たる内容	○文化財の保存管理に関する業務 ○パンフレット「歴史の小径」の作成 ○歴史資料等の購入事前調査及び購入				
		位置づけ	関連計画 第2次刈谷市文化振興基本計画								
		根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例								
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
		・「歴史の小径」の増刷 ・歴史資料等の購入事前調査及び購入 ・愛知県史跡整備市町村協議会参加 ・指定文化財報告書の作成 ・史跡解説板の製作・設置		・「歴史の小径」の増刷 ・歴史資料等の購入事前調査及び購入 ・愛知県史跡整備市町村協議会参加 ・高札型案内板撤去		・「歴史の小径」の増刷 ・歴史資料等の購入 ・愛知県史跡整備市町村協議会参加		・「歴史の小径」の増刷 ・歴史資料等の購入事前調査及び購入 ・愛知県史跡整備市町村協議会参加			
成果		・歴史の小径パンフレット「小垣江編」、「刈谷城・天誅組編」等を増刷し、文化財の啓発や史跡めぐりに生かすことができた。 ・刈谷に関わりのある貴重な歴史資料を購入することができた。									
課題		文化財の啓発と周知を図るため、「歴史の小径」等パンフレットを更に活用するとともに、ガイドボランティアとの連携を一層活発化させていく必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			—	31.7	—	33.7	35.7		
指標											
他市との比較検証		管理する指定文化財の数や種類が市町村ごとに異なるため、他市との比較は難しい。									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		2,142	2,890	569	2,771	合計	569,360 円			
	財源	特定財源	0	87	0	0	旅費	11,810 円			
		一般財源	2,142	2,803	569	2,771	需用費	264,660 円			
	職員人件費 ②		1,136	1,418	1,472	1,507	役務費	3,870 円			
	総事業費（①＋②）		3,278	4,308	2,041	4,278	使用料及び賃借料	220,000 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		備品購入費	54,020 円		
		7年度までの累積事業費		0				負担金、補助及び交付金	15,000 円		
		9年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化財保存管理事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	文化財を保護保存し未来へ伝えていく事業であり、文化財保護法に規定されている法的業務である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	各種パンフレットについては、印刷製本費のコスト削減を目指し、ホームページ上から閲覧・印刷できるようにしている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	文化財の適切な保護や保存は長期的な視点が求められており、愛知県文化財室や刈谷市文化財保護審議会委員と連携をとって行う必要があることから、市が主体となるべき事業である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	文化財の啓発普及を図ることで、成果指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」を増加させていき、郷土の魅力を高めることができる。
	今後の方向性		□拡充 ■現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」を高めることにつなげていくため、パンフレット「歴史の小径」などを活用するとともに、市内史跡を現地で紹介する案内板の管理を適正に進め、市民に地域の文化財の啓発普及に努める。 また歴史博物館を核として、企画展などを通じて地域に眠っている魅力ある文化財の掘り起こしを行い、活用を図る。				

会計名			野田雨乞笠おどり調査報告書作成事業				担当部		市民活動部					
一般会計							担当課		歴史博物館					
款							項		目		担当係		歴史博物館	
10							5		2					
PLAN 事業概要 計画	A	総合計画 施策体系	分野	教育文化										
			基本施策	歴史・文化・観光交流										
			施策の内容	文化財の保護・伝承										
		目的	市指定無形民俗文化財である野田雨乞笠おどりを調査・記録し、報告書を作成することで保存及び伝承の一助とする。				主たる内容	調査委員会の設置及び開催、委員による調査、映像記録撮影を行う。						
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画											
	根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例												
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和7年度～令和9年度								
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他												
	BDO 事業実績 計画 実施	B	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画					
							・調査委員会設置 ・調査委員会開催 3回 ・委員による調査 ・記録映像撮影 ・資料画像撮影		・調査委員会開催 3回 ・委員による調査 ・記録映像撮影 ・資料画像撮影					
成果			無形民俗文化財や民俗芸能の有識者による調査委員会を設置し、野田雨乞笠おどり保存会の協力を得て記録・保存のための報告書刊行（令和9年度）に向けた調査・記録作業を開始することができた。 記録映像撮影のうち、伝承活動（8月の雨乞大会や子どもたちの練習、朝日小学校での伝統文化出張講座の様子）の撮影を行うことができた。											
課題			調査委員から、道具の虫干しや補修についても記録映像として撮影しておいた方が良いという意見がでたので、令和8年度に実施することになった。											
D		指標名称（単位）				実績値			目標値					
						5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
		活動指標	調査委員会開催数（回）			—	—	3	3	—				
		成果指標	事業進捗率（%）			—	—	40.0	80.0	—				
O		他市との比較検証	県内の自治体では犬山市や蟹江町が無形民俗文化財の記録・保存のための調査報告書を刊行している。 ・犬山市『尾張富士の石上げ祭調査報告書』令和2年（平成29～令和元年度調査実施） ・蟹江町『須成祭総合調査報告書』平成21年（平成18～20年度調査実施）											
		C 事業コスト	単位：千円	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳						
事業費 ①	0		0	2,603	3,101	合計	2,602,836 円							
財源	特定財源		0	0	0	0	報酬	111,380 円						
	一般財源		0	0	2,603	3,101	報償費	716,220 円						
職員人件費 ②	0		0	3,556	2,794	需用費	9,956 円							
総事業費（①+②）	0		0	6,159	5,895	委託料	1,765,280 円							
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称										
	7年度までの累積事業費	0												
	9年度以降の事業費見込	0												

会計名			野田雨乞笠おどり調査報告書作成事業	担当部	市民活動部	
一般会計				担当課	歴史博物館	
款	項	目		担当係	歴史博物館	
10	5	2				
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由		
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		普通	野田雨乞笠おどりは市指定無形民俗文化財であるため文化財保護法及び市文化財保護条例に基づいて保護・活用が行われるものであり、その調査や記録映像の作成は保存会の伝承活動や市民への文化財の周知並びに保護啓発のために必要なものであるため。	
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	調査委員会は事業の進捗にあわせて効果的に開催し、委員等への報酬・謝礼も市の規定に基づいて厳正に執行している。記録映像の作成業務は業務経験の豊富な業者を選定し、綿密な打合せをもとに進めており、費用対効果、執行の効率性、手段の最適性を満たしているため。	
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	無形民俗文化財の調査報告書作成は有識者による調査や執筆が必要となるため、自治体が保存会と有識者の間で調整を図り、実施するのが望ましく、地域の文化財保存・継承・活用の面からも市が主体となるべき業務であるため。	
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	無形民俗文化財の調査報告書作成は文化財の保護・活用の基幹をなすものであり、報告書にまとめた成果は保存会の伝承活動に役立つだけでなく、博物館での展示や講座等で情報発信することで市民の郷土への愛着を深め、文化財愛護を啓発することができるため。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	令和7年度～令和9年度まで3か年の事業であるが、現在のところ大きな遅延もなくほぼ当初計画通りに進んでいるので、今後も事業計画に基づき予定されている業務を滞りなく進めていく（令和8年度…調査委員による調査、委託による記録映像作成。令和9年度…調査委員による原稿執筆、報告書の編集作業、委託による記録映像等の編集）。 報告書は専門性の高い冊子であるが、成果について博物館で展示や講座等で分かりやすく紹介することで、市民へ広く情報発信していく。刊行されたものは博物館で頒布する。					

会計名			木札の世界展開催事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	5	13								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用							
	目的	刈谷市指定文化財をはじめ、県内外の各種木札と木札に記された歴史を紹介し、木札の持つ歴史的価値及び地域の歴史文化を学ぶ機会を提供する。				主たる内容	○企画展の開催 会期 令和7年4月26日～6月8日（38日間） 入場料 一般（高校生以上） 600円			
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	文化財保護法、博物館法							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間		令和7年度 ～ 令和7年度			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
						・講演会 2回 ・展示説明会 1回 ・ギャラリートーク 5回 ・体験イベント 1回 ・フリートークデー 3日 ・クイズラリーの実施				
成果		・歴史博物館開館後展示できていなかった木質文化財を市民に公開することができた。 ・本展開催をきっかけに木札資料の寄贈を受けており、地域への文化財保護意識の啓発・高揚につながった。 ・当館では初めて重要有形民俗文化財の資料を借用・公開をすることができた。								
課題		・木質文化財への理解向上や文化財意識啓発などの成果があった反面、広く集客につなげることができなかった。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		入場者数（人）		—		—	2,555	—	—	
成果指標		来館者アンケートの満足度「とてもよい」「よい」の割合（%）		—		—	69.4	—	—	
他市との比較検証		展示室の面積、展示期間が博物館によって異なるため、他館との比較は難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	9,255	0	合計	9,255,216 円		
	財源	特定財源	0	0	785	0	報酬	1,417,528 円		
		一般財源	0	0	8,470	0	報償費	183,380 円		
	職員人件費 ②		0	0	3,580	0	旅費	107,860 円		
	総事業費（①+②）		0	0	12,835	0	役務費	445,750 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		委託料	7,100,698 円	
		7年度までの累積事業費		0		入場料 冊子等頒布収入 講座受講料				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			木札の世界展開催事業	担当部	市民活動部		
一般会計				担当課	歴史博物館		
款	項	目		担当係	歴史博物館		
10	5	13					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐとともに、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度はなじまない。特に地域の事情をよく知る学芸員が企画立案して企画展を開催することは、郷土の歴史文化への愛着を深めることにもつながる。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	遠方他館で所蔵されている普段は目にすることのできない貴重な文化財を公開することで、市民の文化財保護や歴史文化への興味を高めることができ、ひいては生涯学習への意識を高めることができる。		
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
		年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。貴重な文化財の公開にあたっては一定のコストがかかるため、展示内容によっては入場料を設定し、一部受益者負担によって補う。					

会計名			子どもたちの戦争展開催事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	5	13								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用							
	目的	戦後80年を経過して戦争の時代を体験した方々が少なくなる中で、市域に残る資料を通して体験を継承し、歴史を学ぶ機会を提供する。				主たる内容	○企画展の開催 会期 令和7年7月19日～8月31日（38日間） 入場料 無料			
		位置づけ	関連計画 第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
		根拠法令	文化財保護法、博物館法							
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和7年度 ～ 令和7年度		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
						・講演会 1回 ・ギャラリートーク 3回 ・読み聞かせイベント 1回 ・大学連携イベント 1回 ・ペーパーウェイト作りイベント 1回 ・ナイトミュージアム 1回 ・クイズラリーの実施				
成果		戦後80年という節目の年に、子どもという視点から当時の世相を知る機会を提供することができた。また、これまで十分に展示機会がなかった館蔵資料を展示することで、身近な地域の歴史を学ぶ機会を設けることができた。								
課題		小さな文字が書かれている資料や小さな資料など見づらい資料を、幅広い年代の方にわかりやすく展示するための工夫が不十分だった。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		入場者数（人）			—	—	4,953	—	—	
成果指標		来館者アンケートの満足度「とてもよい」「よい」の割合（％）			—	—	88.6	—	—	
他市との比較検証		展示室の面積、展示期間が博物館によって異なるため、他館との比較は難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	6,053	0	合計	6,052,641 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報酬	713,650 円		
		一般財源	0	0	6,053	0	報償費	56,100 円		
	職員人件費 ②		0	0	2,257	0	旅費	11,100 円		
	総事業費（①＋②）		0	0	8,310	0	需用費	1,001,671 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称		役務費	230,040 円		
		7年度までの累積事業費		0			委託料	4,040,080 円		
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			子どもたちの戦争展開催事業	担当部	市民活動部		
一般会計				担当課	歴史博物館		
款	項	目		担当係	歴史博物館		
10	5	13					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐとともに、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度にはなじまない。特に学芸員の調査研究の成果としてオリジナリティのある企画展を開催することは、郷土の歴史への魅力を深めることにもつながる。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	常設展示でも公開する機会が少ない、地域の歴史資料を公開することで、市民の文化財保護や歴史への興味を高めることができ、ひいては生涯学習への意識を高めることができる。		
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
		年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。親子連れなどが気軽に歴史文化に親しむ経験を提供するため、年1回は入場無料の企画展を開催していく。					

会計名			海の縄文山の縄文展開催事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	5	13								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用							
	目的	刈谷市を含め国内有数の貝塚地帯である三河湾周辺の遺跡（海の縄文）と三河山間部や中部高地の遺跡（山の縄文）の出土品を対比的に展示し、地域の歴史文化を学ぶ機会を提供する。				主たる内容	○企画展の開催 会期 令和7年10月4日～11月16日 （37日間） 入場料 一般（高校生以上） 600円			
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	文化財保護法、博物館法							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間		令和7年度 ～ 令和7年度			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
						・講演会 3回 ・展示説明会 1回 ・ギャラリートーク 3回 ・土偶作り体験イベント 1回 ・貝輪作り体験イベント 1回 ・石器使用体験イベント 1回 ・さかなかるたイベント 1回 ・フリートークデー 3日 ・クイズラリーの実施				
成果		刈谷をはじめ海辺の縄文時代のくらしを多彩な出土資料や近年の研究成果で紹介するとともに、山辺のくらしや両地域の繋がりにについても広い視野から理解を深める機会を提供することができた。また、神子柴遺跡出土石器（重要文化財）や国宝土偶「縄文のビーナス」（レプリカ）など著名な資料を借用・展示して来館者の幅広い興味に応えたとともに、公開承認施設としての実績も積み上げることができた。イベントを多く実施し、どれも概ね好評を得ることができた。								
課題		展示室に入ってすぐ海や山のイメージがわくような、観覧者の視覚に訴えるディスプレイの演出ができなかった。パネルやキャプションで専門的な考古学用語の説明が不足していた。チラシ・図録等の印刷物の校正漏れがあった。全体としてスケジュールが遅延気味であった。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		入場者数（人）			—	—	2,900	—	—	
成果指標		来館者アンケートの満足度「とてもよい」「よい」の割合（%）			—	—	80.0	—	—	
他市との比較検証		展示室の面積、展示期間が博物館によって異なるため、他館との比較は難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	11,381	0	合計	11,381,388 円		
	財源	特定財源	0	0	9,639	0	報酬	1,389,234 円		
		一般財源		0	0	1,742	0	報償費	242,940 円	
								旅費	104,760 円	
	職員人件費 ②		0	0	4,821	0	需用費	2,635,253 円		
	総事業費（①+②）		0	0	16,202	0	役務費	581,930 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称				委託料	6,427,271 円
		7年度までの累積事業費		0	日本海事科学振興財団支援金					
		9年度以降の事業費見込		0	入場料 冊子等頒布収入 講座受講料					

会計名			海の縄文山の縄文展開催事業	担当部	市民活動部		
一般会計				担当課	歴史博物館		
款	項	目		担当係	歴史博物館		
10	5	13					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	船の科学館の支援金を得て開催したため、市の費用負担は最終的に全体の3割程度になった。資料の借用・公開にあたっては輸送による資料の劣化や破損を防ぐとともに、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度にはなじまない。特に学芸員の調査研究の成果としてオリジナリティのある企画展を開催することは、郷土の歴史への魅力を深めることにもつながる。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	重要文化財など普段は目にするのでできない貴重な文化財を公開することで、市民の文化財保護や歴史への興味を高めることができ、ひいては生涯学習への意識を高めることができる。		
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
		年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。貴重な文化財の公開にあたっては一定のコストがかかるため、展示内容によっては入場料を設定し、一部受益者負担によって補う。					

会計名			参加・体験型歴史文化教育普及事業				担当部		市民活動部			
一般会計							担当課		歴史博物館			
款		項					目		担当係		歴史博物館	
10		5					13					
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化									
		基本施策	歴史・文化・観光交流									
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用									
	目的	市民が歴史文化を学ぶ機会を創出し、郷土の歴史文化に対する誇りと愛着を育む。				主たる内容	○市内中学1年生向けの歴史博物館見学 ○歴史体験講座の開催 ○簡単工作の実施 ○甲冑試着体験の開催 ○古文書解読講座の開催					
		位置づけ										
		関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画									
		根拠法令	社会教育法、博物館法									
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和元年度　～					
	実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他										
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	6校　1,341人		6校　1,423人		6校　1,322人		6校　1,322人		9回	
歴史体験講座開催　10回			歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回			
簡単工作の実施			簡単工作の実施		簡単工作の実施		簡単工作の実施		簡単工作の実施			
甲冑レプリカ試着体験開催			甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催			
歴史博セミナーの開催			歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催			
6年度実績		6校　1,341人		6校　1,423人		6校　1,322人		6校　1,322人		9回		
		歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回		
		簡単工作の実施		簡単工作の実施		簡単工作の実施		簡単工作の実施		簡単工作の実施		
		甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催		
		歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催		
7年度実績	6校　1,341人		6校　1,423人		6校　1,322人		6校　1,322人		9回			
	歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回			
	簡単工作の実施		簡単工作の実施		簡単工作の実施		簡単工作の実施		簡単工作の実施			
	甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催			
	歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催			
8年度計画	6校　1,341人		6校　1,423人		6校　1,322人		6校　1,322人		9回			
	歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回		歴史体験講座開催　10回			
	簡単工作の実施		簡単工作の実施		簡単工作の実施		簡単工作の実施		簡単工作の実施			
	甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催		甲冑レプリカ試着体験開催			
	歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催		歴史博セミナーの開催			
C 事業コスト	成果	・ 市内中学1年生見学 ・ 歴史体験講座開催　10回 ・ 簡単工作の実施 ・ 甲冑レプリカ試着体験開催 ・ 歴史博セミナーの開催 ・ 古文書解読講座の開催 ・ 開館5周年記念イベント開催 ・ 天誅組160年記念講演会、連続講座の開催										
		・ 簡単工作のポイントカード制度が定着し継続的な来館に繋がり、来館者数の増加に貢献した。 ・ 歴史体験講座をはじめ利用者のニーズにあった講座、イベント内容の選定を行ったことにより、アンケート結果において満足度の高いイベントを開催することができた。										
		簡単工作では、内容によって年齢層に偏りがあるので、幅広い年齢層に対応できる内容を考えていく必要がある。										
	課題											
V	指標名称（単位）		実績値			目標値						
			5年度	6年度	7年度	8年度	10年度					
	成果指標	簡単工作参加者数（人）	2,618	3,092	2,951	3,100	3,100					
	成果指標	歴史体験講座受講者数（人）	245	180	218	230	230					
	他市との比較検証											
	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳					
	事業費　①		4,307	4,187	3,921	5,059	合計　3,920,845　円					
	財源	特定財源	528	642	608	715	報償費　65,000　円 需用費　754,445　円 委託料　754,000　円 使用料及び賃借料　2,347,400　円					
		一般財源	3,779	3,545	3,313	4,344						
		職員人件費　②	5,241	5,439	6,351	6,079						
総事業費（①＋②）		9,548	9,626	10,272	11,138							
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称							
	7年度までの累積事業費		0		簡単工作参加料 講座受講料							
	9年度以降の事業費見込		0									

会計名			参加・体験型歴史文化教育普及事業	担当部	市民活動部		
一般会計				担当課	歴史博物館		
款	項	目		担当係	歴史博物館		
10	5	13					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	博物館における教育普及活動は、博物館法第3条において博物館が行う事業の一つとして明記されており、必要性の高い事業である。また、中学校学習指導要領（社会科）において、「博物館、郷土資料館などの地域の施設の活用」が挙げられており、学校教育上必要な事業でもある。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	学校見学については、指導主事と学芸員が連携して行い、継続して実施することで質の向上に努めている。また、歴史体験講座等については、多様なサービスを提供する観点から業務委託による運営を行っており、最大の効果を出せる状況にある。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	学校見学においては、現場を熟知している指導主事が学校と博物館の橋渡し役を務めている。また、歴史体験講座等においても学芸員の経験等が求められることから、市が主体となって実施するのが妥当である。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	教科書に載っていない地域の歴史を伝える施設は市内においても他にあるが、刈谷の歴史を総合的に伝える施設は博物館以外になく、市民に地元への愛着を持つ機会を提供する役割が期待されている。		
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
		博学連携に関して、学校では体験できない博物館ならではの体験学習の支援を今後も行っていく。 来館者アンケート等を参考に、魅力的なイベントや簡単工作を実施していくことに加え、愛知教育大学との連携等を活用し、就学前の子どもや学生等幅広い世代の来館を促し、歴史に触れる体験を提供していく。					

会計名			歴史博物館茶会開催事業				担当部		市民活動部			
一般会計							担当課		歴史博物館			
款							項目		担当係		歴史博物館	
10							5		13			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化									
		基本施策	歴史・文化・観光交流									
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用									
	目的	市制施行75周年を記念した行事を開催することで、刈谷の歴史に触れ、刈谷市に対する愛着や誇りを育む機会を提供する。				主たる内容	○「秋の和み茶会」の開催 日時 令和7年10月26日 ○周年に関する歴史資料及びお茶に関する資料の展示（常設展示室） 期間 令和7年9月30日～令和8年1月25日					
		位置づけ										
		関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画									
		根拠法令	博物館法									
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和7年度 ～ 令和7年度					
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他										
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画				
				・市制施行75周年記念「秋の和み茶会」開催 ・周年記念特別展示開催 ・周年パネルの展示								
成果		・日本の歴史文化である茶会を刈谷市市制施行75周年記念茶会として博物館で行うことで、周年の祝賀ムードを助長することができた。また、茶会に合わせた刈谷の茶文化や過去の周年の歴史を特別に展示し、市民に幅広い歴史展示を楽しんでもらうことができた。 ・茶会をきっかけとする新規来館者を獲得することができた。										
課題		・博物館では水屋などの設備が整っていないため、飲食を伴う事業には不向きであり円滑な運営のために工夫が必要となった。										
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
成果指標		茶会参加者数（人）				—	—	247	—	—		
活動指標												
他市との比較検証		茶室が併設されていないため比較が難しい。										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費 ①		0	0	170	0	合計		170,000 円			
	財源	特定財源	0	0	122	0	委託料		170,000 円			
		一般財源	0	0	48	0						
	職員人件費 ②		0	0	1,389	0						
	総事業費（①＋②）		0	0	1,559	0						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0		講座受講料						
		9年度以降の事業費見込		0								

会計名			歴史博物館茶会開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		普通	刈谷市歴史博物館基本的運営方針に基づき歴史文化の普及・啓発活動を行う歴史博物館で、周年祝賀の席として日本文化の茶会および周年特別展示を行うことは、本市の文化振興を図る上で必要である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	茶道という特殊技能が必要とされる茶会において、刈谷茶好会に会の進行を委託することで効率良く会を行うことができた。また、刈谷文化協会が後援につくことで、効率的に宣伝を行うことができた。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	歴史文化を伝える歴史博物館で、市民が日本および刈谷の歴史文化に触れる機会を提供することは妥当である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	茶道や周年の特別展示などの歴史文化の普及・啓発活動を行うことで、市民の本市への愛着や誇りを育む機会を提供することができた。
	今後の方向性		□拡充 □現状維持 □改善・効率化 □縮小 ■終期設定 □休止・廃止		
	刈谷市市制施行75周年記念行事として開催した単年事業のため、今後の茶会の開催予定はないが、今後も今回行った特別展示などは継続して行っていく。				

会計名			市史資料整理活用事業				担当部		市民活動部			
一般会計							担当課		歴史博物館			
款							項目		担当係		歴史博物館	
10							5		1			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化									
		基本施策	歴史・文化・観光交流									
		施策の内容	文化財の保護・伝承									
	目的	歴史に関わる資料の調査・整理を行うことで、歴史資料の保存と活用を図る。				主たる内容	市内外における歴史資料を調査・整理し、目録を作成する。					
	位置づけ	関連計画										
		根拠法令	文化財保護法、公文書館法、博物館法									
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	平成7年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他										
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画					
	・資料調査の実施 12回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 23回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 15回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理					
	成果	・資料調査によって、新しく発見した資料を収集し、整理を進めることができた。 ・整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用し、市民に刈谷の歴史を啓発できた。 ・マイクロフィルムの紙焼きを進め、市民が閲覧できる環境を整えた。 ・新聞記事により、刈谷関係及び文化財関係記事のデータベース化を行った。 新しく収集した資料が多く、今後その整理と内容の分析を行う必要がある。										
	課題											
	指標名称（単位）				実績値			目標値				
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
	活動指標	調査回数（回）			12	23	15	15	15			
	指標											
	他市との比較検証	名古屋市や安城市では、市史の刊行は完結し、博物館が必要に応じて調査を実施している。										
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
事業費 ①		9,303	10,176	11,202	11,901	合計	11,201,980 円					
財源		特定財源	49	46	16	42	報酬	6,618,528 円				
		一般財源	9,254	10,130	11,186	11,859	職員手当等	2,034,009 円				
職員人件費 ②		3,975	4,125	4,283	4,385	旅費	58,140 円					
総事業費（①+②）		13,278	14,301	15,485	16,286	需用費	2,484,703 円					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		負担金、補助及び交付金	6,600 円			
		7年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入						
		9年度以降の事業費見込		0								

会計名			埋蔵文化財調査整理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	歴史博物館	
款	項	目					担当係	歴史博物館	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化財の保護・伝承						
	目的	埋蔵文化財の保存・活用を図る。				主たる内容	試掘調査や緊急発掘調査により市内の遺跡から出土した遺物及び調査記録を整理・保存する。		
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成30年度～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 544件 ・試掘・確認調査 39件 ・工事立会 30件 ・緊急発掘調査 0件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 373件 ・試掘・確認調査 22件 ・工事立会 46件 ・緊急発掘調査 0件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 471件 ・試掘・確認調査 21件 ・工事立会 27件 ・緊急発掘調査 5件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 500件 ・試掘・確認調査 40件 ・工事立会 40件 ・緊急発掘調査 1件 ・亀城公園再整備に伴う 刈谷城跡発掘調査 1件		
	成果	・緊急発掘調査が泉田町で4件、半城土町で1件あり、状況に対応しながら実施し適切な指導を行うことができた。また、緊急発掘調査の増加により、職員や発掘作業員の現場経験を増やすことができた。 ・試掘・確認調査の出土遺物についてはすべて1次整理まで実施することができた。 ・かりマップで埋蔵文化財の包蔵地確認をしている業者もあり、活用されている状況を確認できた。							
	課題	・工事立会について、業者からの連絡がなく、立会ができずに工事されてしまう事例が複数あった。今後、発生しないよう、埋蔵文化財の取扱手続の周知とともに、その後の手続きについても、力を注いでいく必要がある。 ・発掘調査の増加により、試掘・確認調査や工事立会が円滑に進められないことがあった。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	1次整理事業実施率（％）			100	100	100	100	100
	活動指標	2次整理事業実施件数（件）			2	2	2	2	2
	他市との比較検証	・安城市では、埋蔵文化財の有無照会をはじめとする業務を基本的に歴史博物館で行っている。また、博物館では展示等を行う学芸係と発掘調査を含む文化財調査を行う文化財係に分かれている。 ・西尾市では、遺跡地図をGISで公開している。							
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
事業費 ①		11,666	12,269	21,933	249,394	合計	21,932,740 円		
財源		特定財源	26	52	1,937	58	報酬	9,229,176 円	
		一般財源	11,640	12,217	19,996	249,336	職員手当等	2,189,724 円	
職員人件費 ②		8,578	6,116	6,351	6,925	旅費	148,760 円		
総事業費（①＋②）		20,244	18,385	28,284	256,319	需用費	100,122 円		
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		役務費	13,618 円
		7年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入 発掘調査費負担金		委託料	10,251,340 円
	9年度以降の事業費見込		0						

会計名			文化財保存事業費補助事業				担当部		市民活動部		
一般会計							担当課		歴史博物館		
款	項	目					担当係		歴史博物館		
10	5	2									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化・観光交流								
		施策の内容	文化財の保護・伝承								
	目的	市指定文化財を適正に保存・管理し、文化財を後世に伝える。				主たる内容	国、県、市指定文化財の保存、管理に要する経費について、文化財の所有者又は管理者に対して補助金を交付する。 ○市指定文化財の保存に要する経費に対する補助金の交付割合及び補助上限額 文化財保存事業 2/3以内 1,000万円上限 文化財保存施設建設事業 1/2以内 1,000万円上限 文化財管理事業 1/2以内 1,000万円上限				
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
		位置づけ	根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例、刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱							
		対象者		指定文化財の所有者			事業期間	～			
		実施方法		□直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
		・市指定史跡「井ヶ谷古窯跡群」の構成要素の一つである松根第3号窯の遺構保存処理及び除草業務に対する補助		・市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復に対する補助 ・市指定史跡「井ヶ谷古窯跡群」の構成要素の一つである松根第3号窯の除草業務に対する補助 ・市指定文化財「地獄の絵巻物」の修理に対する補助		以下の事業に対する補助 ・市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復 ・市指定史跡「井ヶ谷古窯跡群」の構成要素の一つである松根第3号窯の除草業務 ・市指定文化財「地獄の絵巻物」の装丁新調 ・野田史料館照明のLED化		以下の事業に対する補助 ・市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復 ・市指定史跡「井ヶ谷古窯跡群」の構成要素の一つである松根第3号窯の除草業務 ・野田史料館入口のシャッター修繕			
成果		市指定の天然記念物、史跡及び文化財の保存のため事業費の2/3を補助し、貴重な文化財を良好な状態で後世に残すことができるよう支援することができた。									
課題		個人や団体等が所有する指定文化財の適正な管理・保存のため、保存状態等を把握し、聞き取りや助言を行う機会を増やす必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		補助件数（件）			1	3	4	3	—		
指標											
他市との比較検証		近隣市の市指定文化財保存事業費補助金交付割合 ・文化財収蔵施設の建設（改修含む） 安城市… 1/3以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…1000万円以内 ・無形民俗文化財の道具の修繕 安城市…10/10以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…上限なし									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		463	589	935	319	合計	934,528 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	934,528 円			
		一般財源	463	589	935	319					
	職員人件費 ②		215	223	232	237					
	総事業費（①+②）		678	812	1,167	556					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0							
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			史跡めぐり開催事業				担当部		市民活動部										
一般会計							担当課		歴史博物館										
款							項目		担当係		歴史博物館								
10							5		2										
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野		教育文化															
		基本施策		歴史・文化・観光交流															
		施策の内容		歴史文化の普及・啓発・活用															
		目的		市民が本市の文化財や歴史に気軽に触れ、学ぶことができる機会を提供することで、文化財の活用と歴史の啓発を図る。		主たる内容		○史跡めぐりの開催（年3回） ○市内学校の授業等に伴う歴史文化の学習支援											
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画															
		根拠法令		社会教育法、博物館法															
	対象者		対象者を限定せず			事業期間		平成15年度～											
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他																
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画											
		・史跡めぐり案内 3回 井ヶ谷コース 元刈谷コース 一ツ木コース ・小学3年生体験学習における案内、説明		・史跡めぐり案内 3回 高須コース まちなかコース 東海道コース ・小学3年生体験学習における案内、説明 ・ボランティア養成講座の実施		・史跡めぐり案内 3回 重原コース 高津波・小山コース 泉田コース ・小学3年生体験学習における案内、説明		・史跡めぐり案内 3回 鎌倉街道コース 築地・恩田コース 野田・半城土コース ・小学3年生体験学習における案内、説明											
成果		刈谷ふるさとガイドボランティアの会会員自身が歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、積極的に向上心を持って活動した結果、毎回定員を上回る応募があり、アンケートの結果からは8割以上の参加者から「満足（おおむね満足）」である」「また参加したい」との評価を得た。																	
課題		参加者の増加、借りられる場所の減少に伴い、駐車スペースの確保が年々難しくなっていることが課題となっている。また開催時期の温湿度が、昨今の異常気象により変動しているため、高温対策・熱中症対策を十分にとる必要がある。																	
指標名称（単位）				実績値			目標値												
				5年度			6年度			7年度			8年度			10年度			
活動指標		史跡めぐりの参加者数（人）		135			154			162			150			150			
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）		—			31.7			—			33.7			35.7			
他市との比較検証																			
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（決算）		8年度（予算）		7年度事業費内訳							
	事業費 ①		181		180		182		188		合計 181,828 円								
	財源	特定財源	0		0		0		0		需用費 9,828 円								
		一般財源	181		180		182		188		委託料 172,000 円								
	職員人件費 ②		560		581		604		618										
	総事業費（①＋②）		741		761		786		806										
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称													
		7年度までの累積事業費		0															
		9年度以降の事業費見込		0															

会計名			発掘調査報告書作成事業				担当部		市民活動部		
一般会計							担当課		歴史博物館		
款	項	目					担当係		歴史博物館		
10	5	2									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化・観光交流								
		施策の内容	文化財の保護・伝承								
	目的	これまでに市内で実施した遺跡の発掘調査について、報告書を作成することで、その学術的な成果を広く一般に公開し、本市の歴史研究の一助とする。				主たる内容	検出遺構や出土遺物に関する記述や考察等の文章データや画像データの作成・編集と報告書の印刷を行う。				
		位置づけ									
		関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
		根拠法令	文化財保護法								
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和2年度～				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・刈谷城跡報告書刊行 ・宮東第1号貝塚発掘調査(平成10～28年度実施)報告書刊行		・宮東第1号貝塚発掘調査(平成30年度実施)報告書刊行		・野田城他（中世城館関係遺跡）出土遺物自然科学分析業務委託		・野田城他（中世城館関係遺跡）報告書刊行					
成果		平成24年度の野田城の調査で出土した土器付着炭化物の自然科学分析を行い、報告書に掲載する分析結果を得ることができた。									
課題		おおむね一年度中に1冊のペースで報告書を刊行しているが、依然として未報告のものがあるため、今後も刊行のペースアップに向けて検討をしていく。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
成果指標		報告書刊行数（冊）				2	1	0	1	2	
活動指標		報告書頒布部数（冊）				24	29	11	10	10	
他市との比較検証		安城市や豊田市では、発掘調査後数年の内に複数の報告書を刊行している。 ・安城市の報告書刊行数 令和6年度 2冊、令和7年度 2冊 ・豊田市の報告書刊行数 令和6年度 2冊、令和7年度 2冊									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		10,238	1,559	627	1,123	合計 627,000 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 627,000 円				
		一般財源	10,238	1,559	627	1,123					
	職員人件費 ②		8,885	5,638	4,201	4,724					
	総事業費（①＋②）		19,123	7,197	4,828	5,847					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0							
		9年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	5	13								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化財の保護・伝承							
	目的	歴史博物館を適正に維持管理することで、施設の環境を最適に保つ。				主たる内容	建物清掃委託や諸整備の管理業務委託など歴史博物館の維持管理を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画							
		根拠法令	博物館法、文化財保護法、刈谷市歴史博物館条例							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成30年度～			
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・建物清掃委託 ・空調設備保守管理業務委託 ・自動制御設備保守管理業務委託 ・消防用設備保守管理業務委託 ・エレベーター保守管理業務委託 ・ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等		・建物清掃委託 ・空調設備保守管理業務委託 ・自動制御設備保守管理業務委託 ・消防用設備保守管理業務委託 ・エレベーター保守管理業務委託 ・ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等		・建物清掃委託 ・空調設備保守管理業務委託 ・自動制御設備保守管理業務委託 ・消防用設備保守管理業務委託 ・エレベーター保守管理業務委託 ・ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等		・建物清掃委託 ・空調設備保守管理業務委託 ・自動制御設備保守管理業務委託 ・消防用設備保守管理業務委託 ・エレベーター保守管理業務委託 ・ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等			
	成果	施設、設備等を適切に維持管理することで、歴史資料や文化財を適切に保存・管理することができるとともに、市民に快適な鑑賞環境を提供することができた。								
	課題	文化財保管のため施設の状態を常に注視し、異常があった場合に速やかに対応する必要がある。開館から7年経過し、定期点検時に部品の交換や小さな故障の報告が増えてきているが、予算が限られているため、緊急性の高いものから実施していく。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	総入館者数（人）			39,624	38,852	35,231	38,900	39,600	
	指標									
	他市との比較検証	施設の規模、設備、築年数等の条件が異なることから、比較は難しい。状況に応じ、効率的かつ効果的な管理を行っていく。								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		41,861	48,139	49,370	48,782	合計	49,369,543 円			
財源		特定財源	136	181	191	198	需用費	22,652,638 円		
		一般財源	41,725	47,958	49,179	48,584	役務費	482,383 円		
職員人件費 ②		4,527	4,619	4,796	4,910	委託料	23,082,429 円			
総事業費（①+②）		46,388	52,758	54,166	53,692	使用料及び賃借料	132,527 円			
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		工事請負費	2,747,800 円	
		7年度までの累積事業費		0		土地建物貸付収入		備品購入費	271,766 円	
	9年度以降の事業費見込		0							

会計名			収蔵・展示等管理事業				担当部	市民活動部			
一般会計							担当課	歴史博物館			
款	項	目					担当係	歴史博物館			
10	5	13									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化・観光交流								
		施策の内容	文化財の保護・伝承								
	目的	展示・収蔵品及び設備の管理を行うことで 展示品・収蔵品の劣化を防ぐとともに、地域 の人々に歴史文化の魅力を提供する。				主たる 内容	○歴史ひろば機器保守点検委託 ○お祭りひろば山車・万燈保守管理委託 ○燻蒸業務委託 ○文化財什器製作業務委託 ○展示品・収蔵品撮影委託 ○刀剣類保存作業業務委託				
		位置づけ	関連計画 第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
		根拠法令	博物館法、文化財保護法								
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和元年度 ～			
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 掛軸・調度品等収納箱 16件 ・展示品・収蔵品撮影委託 掛軸等 13件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等								
			6年度実績	・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 1回 ・文化財什器製作業務委託 槍、弓、高札収納箱 6件 ・展示品・収蔵品撮影委託 卷子、文箱、掛軸等 10件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 ・博物館要覧の印刷製本 等							
7年度実績				・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 1回 ・文化財什器製作業務委託 掛軸・武具類収納箱 41件 ・展示品・収蔵品撮影委託 掛軸、染織、卷子等 10件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等							
				8年度計画	・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 1回 ・文化財什器製作業務委託 掛軸・武具類収納箱 37件 ・展示品・収蔵品撮影委託 土器、掛軸、卷子等 14件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等						
					成果	・文化財什器である軸・槍等の収納箱の製作により、これまで梱包されていなかった資料を箱に納めることができ、資料の劣化を防ぐことができた。 ・刀剣類保存作業において、錆等により展示に堪えられなかった刀剣の研磨及び保存用白鞘等の製作を行うことで、今後の展示等で活用できる状態になった。					
課題		計画的な撮影スケジュールを策定し、今後の研究や文化財活用に活用できるように画像データを整える必要がある。									
		指標名称（単位）			実績値			目標値			
活動指標		文化財什器製作数（件）	5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
		展示品・収蔵品撮影（件）	16	6	41	37	20				
他市との比較検証		施設の設備や収蔵している資料の種類、状態、数等の条件が異なることから比較は難しい。状況に応じ、優先順位をつけ、予算を効果的に活用し管理を行っていく。									
	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度 事業費内訳				
C 事業コスト	事業費 ①		5,187	5,161	4,809	6,099	合計 4,808,622 円				
	財源	特定財源	0	0	12	20	需用費 891,265 円				
		一般財源	5,187	5,161	4,797	6,079	役務費 92,053 円				
	職員人件費 ②		1,212	1,179	1,224	1,253	委託料 3,631,374 円				
	総事業費（①+②）		6,399	6,340	6,033	7,352	備品購入費 193,930 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入					
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			収藏品補修事業				担当部		市民活動部						
一般会計							担当課		歴史博物館						
款							項		目		担当係		歴史博物館		
10							5		13						
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野		教育文化											
		基本施策		歴史・文化・観光交流											
		施策の内容		文化財の保護・伝承											
	目的		市が所有している文化財の修繕を行い、文化財を後世に伝える。				主たる内容		歴史博物館の所蔵資料の修復を行う。						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画											
		根拠法令		文化財保護法、刈谷市文化財保護条例											
	対象者		対象者を限定せず				事業期間		令和2年度～						
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他												
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績			7年度実績			8年度計画					
		所蔵資料2点の複製製作を行った。 ・額装 松本奎堂肖像画 ・額装 矢野龍渓肖像画 所蔵資料1点の修復を行った。 ・掛軸 澤梅谷筆花籠に文鳥		所蔵資料2点の修復を行った。 ・掛軸 澤梅谷筆山水画 ・掛軸 池田友八郎肖像画			所蔵資料2点の修復を行った。 ・掛軸 東境村絵図 ・掛軸 土井利位書幅			所蔵資料2点の修復を行う。 ・鉄黒漆塗水車紋二枚胴具足 ・掛軸 大正新田開墾図					
成果		所蔵資料の修復を行い、市民の財産である文化財を将来へ継承するとともに、展示が可能となった。													
課題		市が所蔵する歴史資料の保存状態を調査し、把握する必要がある。													
指標名称（単位）					実績値			目標値							
					5年度		6年度		7年度		8年度		10年度		
活動指標		収藏品修復・複製製作件数（件）			3		2		2		2		3		
指標															
他市との比較検証		収蔵している資料の種類、状態は異なることから、比較は難しい。個々の資料の状態を確認しつつ、資料の価値や活用予定等を鑑み、優先順位をつけ行っていく。													
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（決算）		8年度（予算）		7年度事業費内訳			
	事業費①		848		1,240		1,153		1,600		合計		1,152,800 円		
	財源	特定財源	0		0		0		0		委託料		1,152,800 円		
		一般財源	848		1,240		1,153		1,600						
	職員人件費②		368		382		397		406						
	総事業費（①+②）		1,216		1,622		1,550		2,006						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		7年度特定財源名称								
		7年度までの累積事業費			0										
		9年度以降の事業費見込			0										

会計名			収蔵品管理システム管理事業				担当部		市民活動部	
一般会計							担当課		歴史博物館	
款	項	目					担当係		歴史博物館	
10	5	13								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化財の保護・伝承							
	目的	歴史博物館の収蔵品を適切に管理する。				主たる内容	歴史博物館の収蔵品管理システムを管理・運用する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
		根拠法令	博物館法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度　～			
	実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他								
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・収蔵品管理システムによる収蔵品データの一部公開 ・収蔵品管理システムを利用したスマートフォンアプリである「ポケット学芸員」の展示解説の更新 ・収蔵品データの充実化		・収蔵品管理システムによる収蔵品データの一部公開 ・収蔵品管理システムを利用したスマートフォンアプリである「ポケット学芸員」の展示解説の更新 ・収蔵品データの充実化		・収蔵品管理システムによる収蔵品データの一部公開 ・収蔵品管理システムを利用したスマートフォンアプリである「ポケット学芸員」の展示解説の更新 ・収蔵品データの充実化		・収蔵品管理システムによる収蔵品データの一部公開 ・収蔵品管理システムを利用したスマートフォンアプリである「ポケット学芸員」の展示解説の更新 ・収蔵品データの充実化			
	成果	・来館者閲覧向けデータベースの整理を行い、来館者の利便性向上に寄与することができた。 ・新規収蔵資料も逐次追加し、データを適切に管理し、データベースを充実させることができた。								
	課題	・一部の歴史資料及び考古資料の情報が整理しきれていないため、引き続き整理を進める必要がある。 ・現在収蔵品管理システムは館内端末でしか閲覧できないため、ホームページ等で公開し、更に利用者の利便性を向上していく必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	資料閲覧者数（人）			164	352	307	360	400	
	活動指標									
	他市との比較検証	改正博物館法では、第3条第1項に定める博物館の事業に「博物館資料に係る電磁的記録を作成し、公開すること」が追加され、デジタル技術を活用した博物館資料のデジタルアーカイブ化とその管理及び活用のため、デジタル化に取り組むこととされており、各市町の博物館が取組を進めている。 知多市歴史民俗博物館が当市と同様のシステムを導入している。								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		520	520	660	493	合計	660,425 円			
財源		特定財源	0	0	0	0	役務費	96,362 円		
		一般財源	520	520	660	493	委託料	62,243 円		
職員人件費 ②		522	462	480	491	使用料及び賃借料	396,000 円			
総事業費（①＋②）		1,042	982	1,140	984	備品購入費	105,820 円			
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
	9年度以降の事業費見込		0							

会計名			資料収蔵庫整備事業				担当部		市民活動部			
一般会計							担当課		歴史博物館			
款							項目		担当係		歴史博物館	
10							5		13			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化									
		基本施策	歴史・文化・観光交流									
		施策の内容	文化財の保護・伝承									
	目的	現在使用している収蔵庫の取り壊しや改修に伴い、保管している収蔵品を、適切な環境で管理を行うため、代替収蔵庫を確保し、保存継承を図る。				主たる内容	旧城町図書館内収蔵庫及び郷土資料館1階収蔵庫に保管している博物館資料の移転先となる代替施設の建設、及び移設を行う。					
		位置づけ										
		関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画									
		根拠法令	文化財保護法、博物館法									
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和6年度～令和7年度					
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他										
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画				
		・代替施設となる民俗収蔵庫の設計 ・民俗収蔵庫の建設工事		・民俗収蔵庫への城町図書館からの収蔵棚移設、収蔵棚の新設及び資料の移動 ・南部生涯学習センター屋外倉庫の収蔵庫への改装及び郷土資料館からの資料の移動（R6繰越分） ・民俗収蔵庫の建設工事								
成果		新しい民俗収蔵庫の建設及び既設倉庫の収蔵庫への改修を行い、収蔵品を移設することができた。										
課題		市民の蔵などに眠っている民俗資料は今後も寄贈の申込みが増えることが想定されるが、現状の収蔵庫の面積から増やすことができなかったため、受け入れ可能な資料の量に限りがある。										
指標名称（単位）				実績値		目標値						
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
活動指標		収蔵庫の設計件数（件）			—	1	—	—	—			
活動指標		収蔵資料の移転件数（件）			—	—	2	—	—			
他市との比較検証		収蔵庫の状況は各市で異なるため、比較することは難しい。地域に存在する貴重な資料を、資料収集方針に従い、適正に収集を進めるとともに、限られた収蔵スペースを有効活用し、資料の適正管理に努める。										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費①		0	16,797	28,516	0	合計	28,516,332 円				
	財源	特定財源	0	0	22,009	0	委託料	4,538,532 円				
		一般財源	0	16,797	6,507	0	工事請負費	22,899,800 円				
	職員人件費②		0	741	1,943	0	備品購入費	1,078,000 円				
	総事業費（①＋②）		0	17,538	30,459	0						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0		前年度繰越金						
		9年度以降の事業費見込		0								

会計名			次期企画展開催準備事業				担当部		市民活動部		
一般会計							担当課		歴史博物館		
款	項	目					担当係		歴史博物館		
10	5	13									
PLAN計画	A事業概要	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
			基本施策	歴史・文化・観光交流							
			施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用							
		目的	次年度以降の企画展開催に向けた資料調査・借用交渉及び次年度春の企画展の印刷物制作を行うことで、事業の円滑な遂行を図る。				主たる内容	○次年度春の企画展のポスター・チラシ・図録のデザイン作成及び印刷 ○次年度以降企画展の資料調査及び借用交渉			
		位置づけ									
		関連計画	第2次文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
	根拠法令	博物館法									
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和3年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO実施	事業実績	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
・令和6年度春季企画展のポスター・チラシ・図録等作成 ・令和6年度春季企画展の事前広報 ・令和6年度以降企画展の事前調査			・令和7年度春季企画展のポスター・チラシ・図録等作成 ・令和7年度春季企画展の事前広報 ・令和7年度以降企画展の事前調査		・令和8年度春季企画展のポスター・チラシ・図録等作成 ・令和8年度春季企画展の事前広報 ・令和8年度以降企画展の事前調査		・令和9年度春季企画展のポスター・チラシ・図録等作成 ・令和9年度春季企画展の事前広報 ・令和9年度以降企画展の事前調査				
成果			・令和8年度春季企画展の印刷物を制作し、会期以前に効果的に広報することができた。 ・令和8年度以降の企画展における展示資料の選定を行うことができ、展覧会の質を上げることができた。								
課題			国宝や重要文化財など魅力的な資料は早めに資料調査や借用交渉に動くことが大事であるが、2年後に開催予定の企画展までしか動けていないのが現状である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標			事前調査を行っている次年度以降開催予定の企画展数（本）			6	6	6	6	9	
活動指標											
他市との比較検証			他施設より資料を借用する企画展を開催している岡崎市美術博物館や安城市歴史博物館では、2～3年後の企画展の事前調査を常に行っている。								
Vコスト			C事業	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①			2,841	3,085	3,681	3,248	合計	3,680,988 円		
	財源	特定財源		0	0	81	0	報償費	160,000 円		
		一般財源		2,841	3,085	3,600	3,248	旅費	397,890 円		
	職員人件費 ②			2,102	2,110	2,555	2,616	需用費	2,617,098 円		
	総事業費（①+②）			4,943	5,195	6,236	5,864	役務費	66,000 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0		日本海事科学振興財団支援金					
		9年度以降の事業費見込		0							